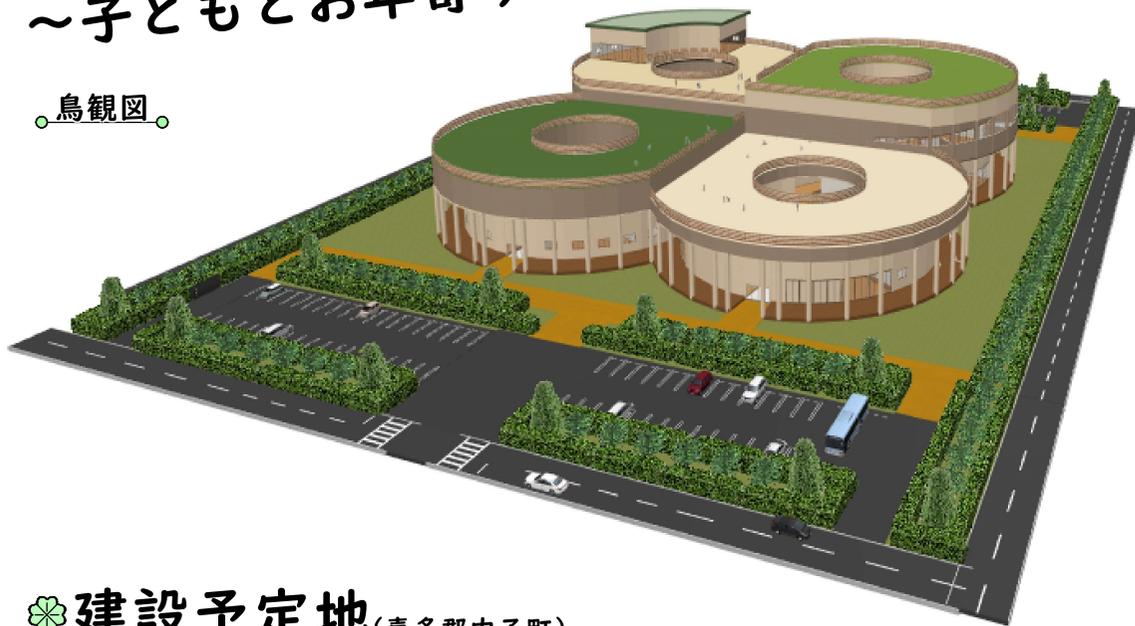


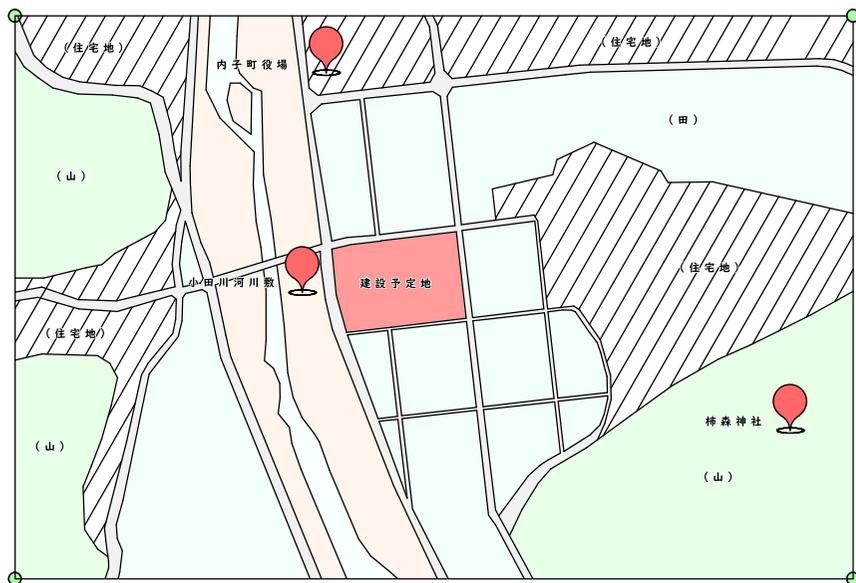
Clover

~子どもとお年寄りの幸せを育む~

鳥観図



建設予定地(喜多郡内子町)



幼 老 複 合 施 設

幼老複合施設とは？

幼稚園や保育園、こども園などの児童向けの施設と老人ホームや
デイサービスセンターなどの高齢者施設を併設した施設のこと

高齢者

- ・笑顔が増える
無邪気で積極的な子どもたちと触れ合うことで、自然に笑顔が多くなる
- ・生きがいを持つ
子どもを守り育てようとする役割意識が生まれ、人のために役に立てる存在価値を再確認し、生きがいが増えるようになる
- ・活動量が増える
子どもの世話をしたり、一緒に遊んだりする時間が多くなることから活動量が増える
- ・脳の活性化が期待できる
動き回る子供を見守ることで、気配り、目配りする機会が増え、脳の活性化が期待できる

メリット

子ども達

- ・お年寄りをいたわる気持ちが芽生える
高齢者の身体や認知症について理解が深まり、優しくいたわる思いやりの気持ちが育まれる
- ・挨拶などマナーが身につく
高齢者と一緒に過ごす中で、挨拶やマナーなどについて注意を受けたり、教わる場面が多くなる
- ・子どもの情緒にもいい影響を与える
「早くしなさい」などと急かされることもなく、褒められることも多いなどから、子供の気持ちが安定し自信につながる
- ・幅広い知識が得られる
幼稚園などでは教わらないお年寄りを持つ知恵や知識を学ぶことができる

メリット

デメリット

- ・介護、保育両スタッフの採用が困難
介護、保育スタッフ共に人材不足と言われている中、両スタッフを確保するのは困難
- ・スタッフの負担が大きい
介護、保育の両分野の知識がある程度必要となる
また、高齢者と子どもの交流には、より細やかな配慮と見守りが必要となる

- ・高齢者、子ども間にトラブルが起こることも
身体能力や判断力が低い者同士でのトラブル、子どもが走り回ることによって高齢者が転倒する、高齢者の薬を子供が誤飲するなどの事故リスクが高い
- ・感染症のリスク
抵抗力の弱い者同士で、お互いに感染症が伝染しあってしまうリスクがある

子どもの保護者

- ・子どものしつけに高齢者の力を
親の言うことは聞かないがお年寄りの言うことは聞くことがあり、親の力が及ばない部分を助けてもらえることがある
- ・若い世代の親だけではできない子育てを担ってもらえる
いろいろな世代の大人が関わることで、子育ての内容がより豊かになる

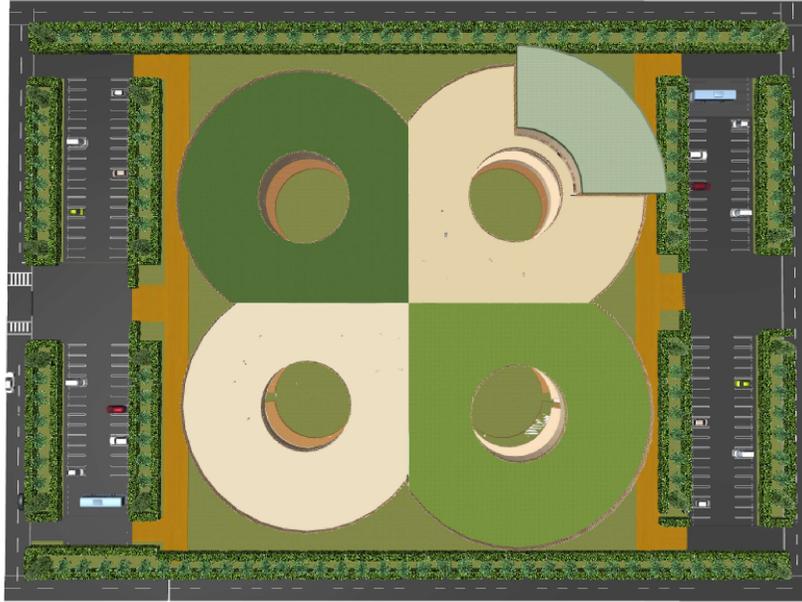
設計主旨

近年、愛媛県内で問題となっている人口の減少。県内の20市町全てで人口が減少し、毎年約1万人ずつ減少しているのが現状です。そこで私は、近年人口が減少し、少子高齢化が著しく進んでいる「内子町」に目を向けました。内子町の総人口は、令和5年時点でおよそ1万5千人。1950年から2015年にかけておよそ2万5千人も減少しています。そのうち、年少人口（0歳～14歳）はおよそ1万4千人減少、それに伴い出生率も低下している一方で、老年人口（65歳以上）は3千人増加し、年々増加している傾向です。これらの止まらない人口の減少、特に出生率の低下は、幼稚園数の低下に比例します。幼稚園数は、平成25年から令和5年の間で県内でもおよそ70園も減少しています。それに合わせ、現代の子供たちはお年寄りの方々と触れ合う機会が少なくなってきたという問題もあります。これららの問題を少しでも解決に導ける施設を建てたいと思い設計したのがこの「幼老複合施設」です。私が設計した幼老複合施設は、平面図が四葉のクローバーの形になっていることが一番の特徴です。ここで暮らす子どもとお年寄りが幸せに包まれている成長し生活してほしいという願いを込めました。

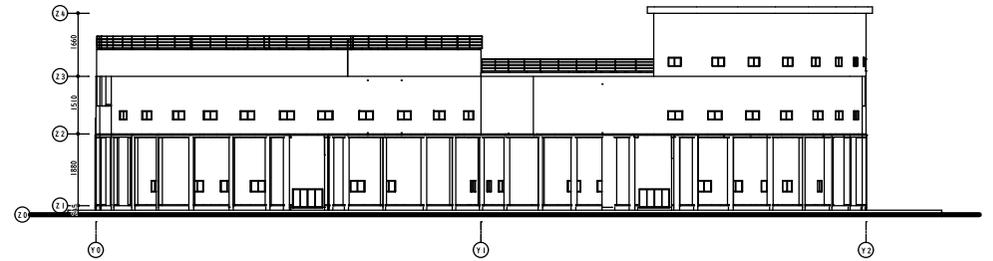
現在、内子町の幼稚園数は4園、老人ホームは15か所以上あります。この内子町に大規模な幼老複合施設を建設することで、地域の様々な年代の人たち（園児やその保護者、お年寄りの方々など）が集まる場となり、地域内での人々の交流が盛んになるはず。また、実際にこの施設を利用する老人や園児たちは、異世代間の交流が促進され、通常の老人ホームや幼稚園を利用するより双方に様々な成長が期待されます。

県内ではまだ馴染みがない幼老複合施設。県内でも特に人口が減少し、少子高齢化が進む内子町にこの施設を建設することで、子供とお年寄りとの異世代の交流を図ったり、地域の人たちが集まれる場となったりと、内子町が温かく幸せに包まれるきっかけとなる場所を目指して設計しました。

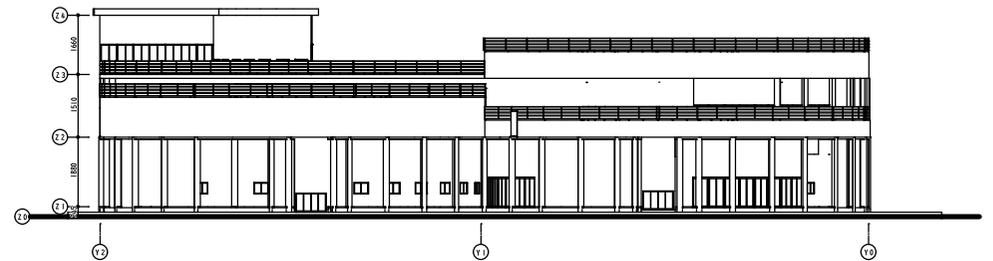
✿ 航空写真



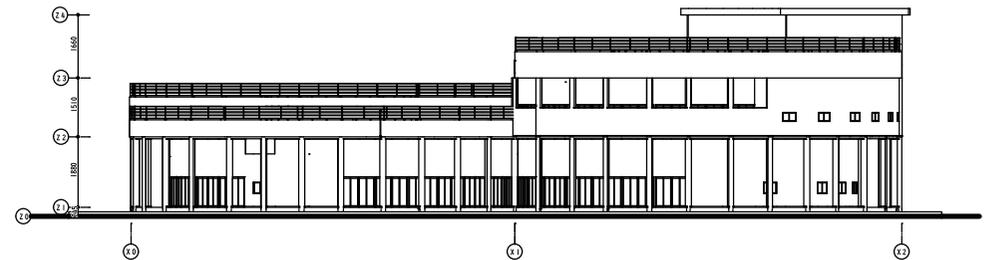
✿ 立面図



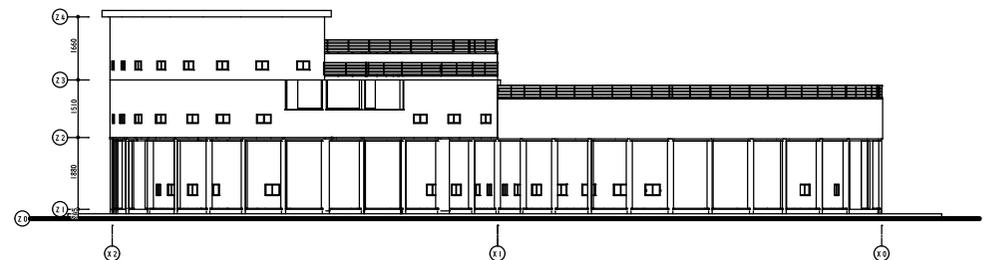
東立面図 縮尺 1/500



西立面図 縮尺 1/500

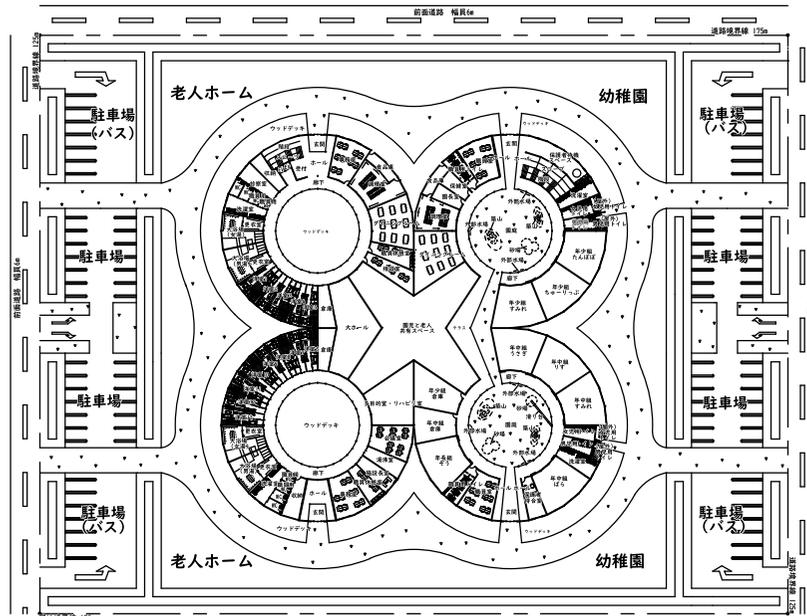


南立面図 縮尺 1/500



北立面図 縮尺 1/500

✿ 配置図

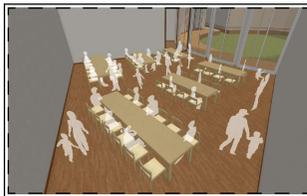


縮尺 1/900

平面図

ダイニングルーム

- ・園児たちが一斉に食事をとることができるように設計した広々空間
- ・ダイニングルームからキッチンの様子が見れる(園児は出入りできない)
- ・中庭で遊び疲れた子どもたちがすぐにごはんが食べれる
- ・ごはんを食べたらまたすぐに遊びに行ける

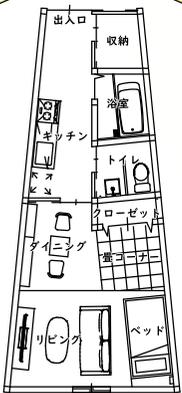


調理室

- ・食品庫とつながっており、食材の搬入をしやすいように設計
- ・コンロと蛇口のついた台所を計4台設置
- ・調理室の中から中庭で遊ぶ子どもたちの様子を確認できる
- ・調理室の中からダイニングルームを確認できる



单身室(間取り)



- ・プライバシーに配慮した完全個室
- ・ゆったりとした奥行きのある居室
- ・出入り口のドアと室内戸は片引き戸になっており、車いすを利用しているお年寄りが開閉しやすいようにした
- ・和室コーナーを設け、居室に畳を希望するお年寄りのために設けた
- ・呼び出しボタン(ナースコール)をベッドの近くに設置し、お年寄りの安心安全に考慮した

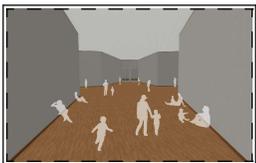
部屋名	
・キッチン	・収納
・トイレ	・ダイニング
・クローゼット	・畳コーナー
・リビング	・浴室

老人ホーム

老人ホーム

園児と老人共有スペース(イメージ)

- ・子どもたちとお年寄りの方々が交流するためのスペース
- ・主にお年寄りが子どもに、「普通遊び」を教え、一緒に遊ぶ



～普通遊びの例～

(道具)	
・ぶんぶんごま	・あやとり
・ぼっくり下駄	・お手玉
・けん玉	・折り紙

など

(手遊び)	
・ずいずい ずっころぼし	
・あがりめ、さがりめ	
・いっぼんぼし ちよちよ	

など

中庭・園庭 / 廊下(イメージ)

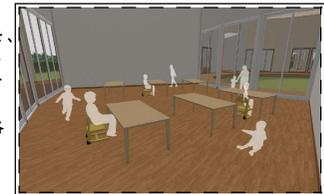
- 一 中庭
 - ・円形の中央にウッドデッキを設置
 - ・日が当たる日には、お年寄りどうしや介護士の方とおしゃべりをしたりと、日向ぼっこができる
- 一 園庭
 - ・玄関から入ると園庭につながっており、そのまま園庭に行ける
 - 「滑り台」
 - ・幼稚園の1階屋上とつながっており、子どもたちが滑り台で遊べるよう一か所に設けている
 - 「砂場」
 - ・滑り台の着地点ともう一か所に設けている
 - 「築山(つきやま)」
 - ・人工的に作られた山で、子どもの遊具として利用できる
 - 「外部水場」
 - ・1つの園庭に3箇所設置している。遊び終わった後、そこで手を洗えばそのまま各保育室に入れる



幼稚園

各保育室(イメージ)

- ・天井高は3mと、ストレスの感じさせない広々とした開放感を得られる
- ・園庭で脱いだ靴を、保育室前の靴箱に入れて保育室に入ることができる
- ・1学年3クラスの各クラス名は「花」と「動物」の名前になっている



ウッドデッキ

- ・1Fの幼稚園と老人ホームの建物の形に沿って設けている
- ・屋根があるので、雨の日でも利用できる
- ・日が当たる日には、子どもたちや保育士、お年寄りの方々みんなで日向ぼっこができる
- ・子どもとお年寄りとの交流の場の一か所となる



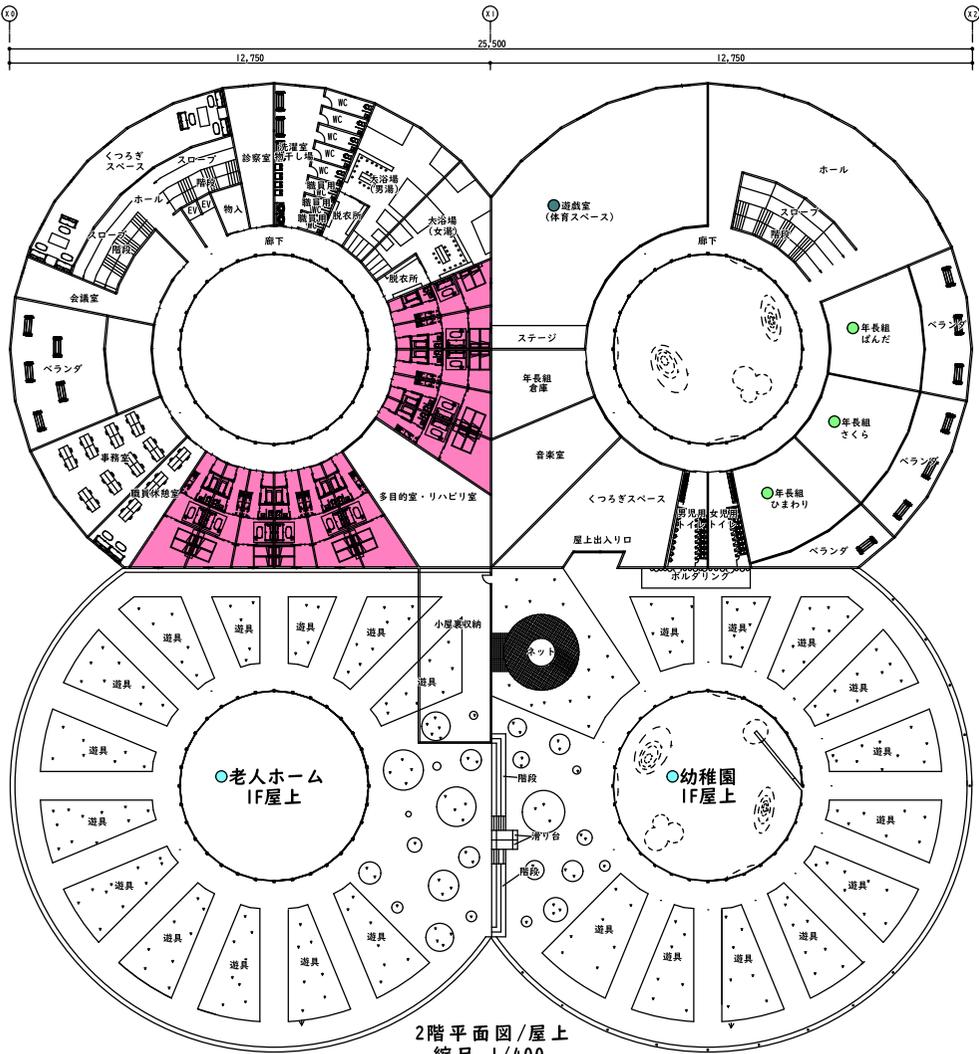
幼稚園

保護者待合室

- ・保護者が子どもを連れて帰るまでに空き時間がある場合に利用する
- ・保護者同士での団らんの場となる
- ・ソファやテーブル、椅子を用意し、くつろげうになっている

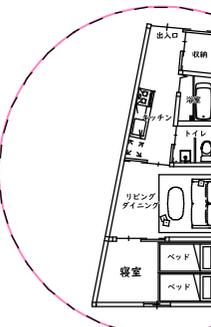


1階平面図 縮尺 1/400



2階平面図/屋上
縮尺 1/400

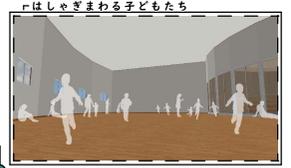
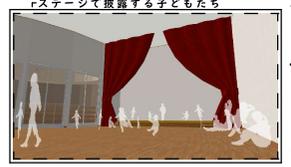
夫婦室(間取り)



部屋名	
・キッチン	・収納
・トイレ	・寝室
・リビングダイニング	
・リビング	・浴室

- ・今まで夫婦で暮らしてきた時と同じような生活を続けることができるのが夫婦室
- ・第二の新しい人生のスタートを迎えるにあたって、夫婦一緒に暮らせるので、精神的に安定し、不安を感じづらい
- ・急な体調不良や室内で転倒、ベッドからの転落といった不測の事態が発生した際にも、スタッフが24時間いつでも対応してくれるため、自宅で2人っきりで生活するよりも安心

遊戯室(体育スペース)

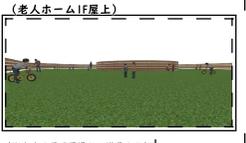
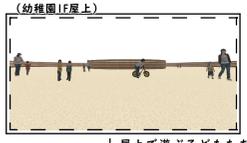


- 「ステージで披露する子どもたち」
 - ・入園式や卒園式、発表会などのイベント時に使用されるスペース
 - ・イベント時以外では体育スペースとして利用し、雨の日でも子どもたちが室内で思いっきり身体を動かすことができる
 - ・ステージの高さは40cmに設定し、子どもたちが上り下りしやすいに加え、万が一転落した場合にもけがが最小限で済むように設計
- 「はしゃぎまわる子どもたち」
 - ・このステージ高は、1段高いところにいる特別な雰囲気を生み出しながらも、フロアにいる友達との一体感も創出する、子どもたちにとっては絶妙の高さ

屋上(イメージ)

行き止まりのない
回遊性のある
ループ状の屋根

～子どもの体力向上のための空間～
「回遊性のある空間配置」



「屋上で遊ぶ子どもたち(※本棟は平面図通りの遊具あり)」

屋上(イメージ)

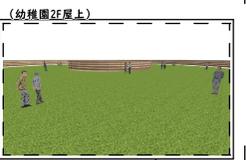
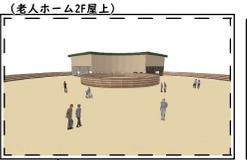
～お年寄りに癒しを与えるための空間～
「緑あふれる憩いの場」

お年寄りに癒しを
心身ともに癒す

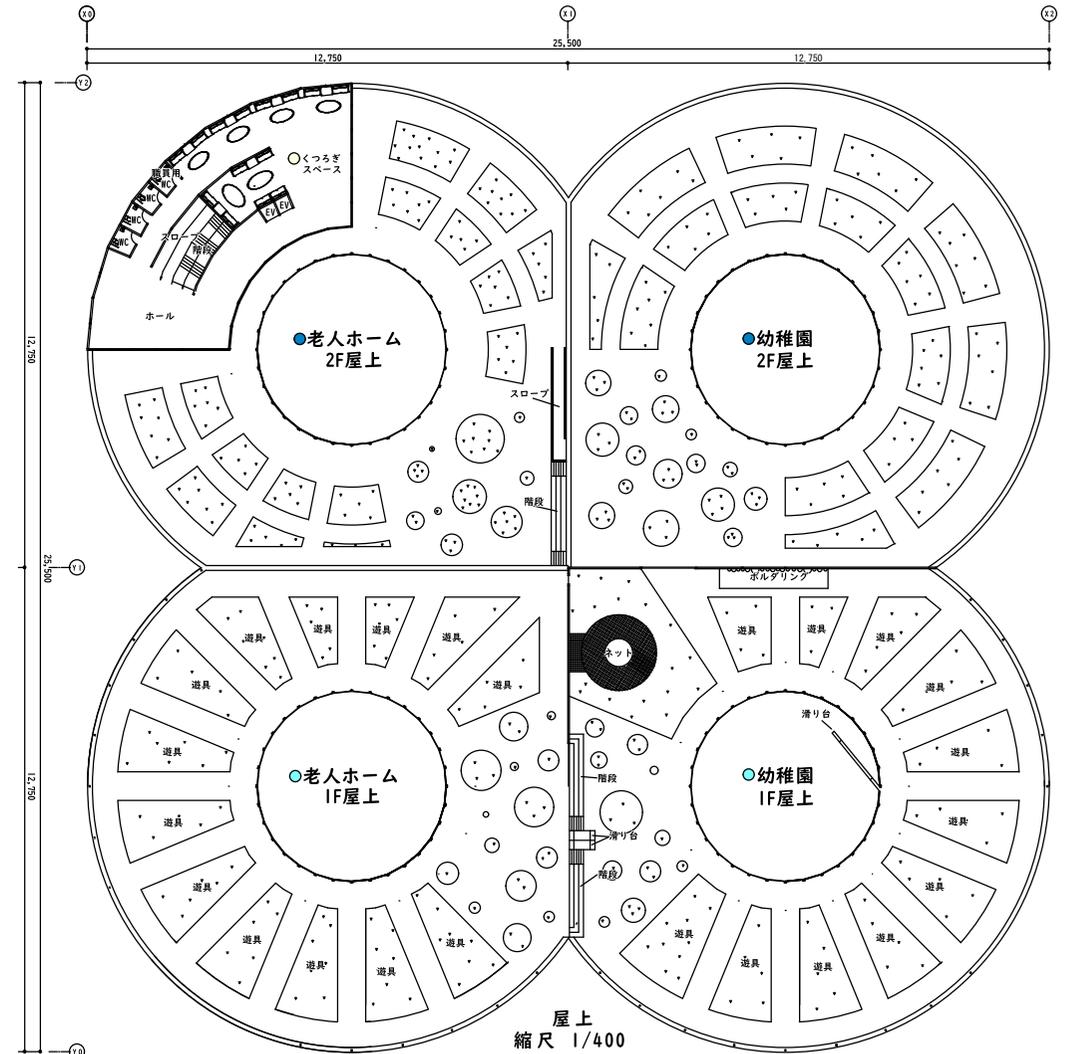
～高齢者のための「屋上庭園」～
○農と花の風景 ○緑に囲まれた散歩空間 ○集いの広場

・植物や土、人々との触れ合いが心に潤いをもたらすし、健康維持につながる

・子どもたちのお気に入りの場所と比べると遊びながら走り回ることに間違いなし



「屋上で散歩するお年寄りたち(※本棟は菜園や集いの広場がある)」



屋上
縮尺 1/400